大切な甲賀市の自然 パートⅡ

甲賀市内の
大切な自然が存在する
地域について紹介します

●第2回●
鈴鹿山脈南部 坂下峠

坂下峠は甲賀町大原から三重県亀山市坂下に通じる山道の鈴鹿山地の尾根にあります。峠から尾根道を北へ登れば溝干山、高畑山から鈴鹿峠へ、南へ登れば那須ヶ原山へと続いています。この辺りは花崗岩地帯で尾根道は風化が進み、崩れやすく、むきだしの岩があり、岩や崖にへばりつくように植物が生えています。

また土壌は植物が育つには栄養が乏しいのですが、ツツジ科植物は他所では見られない程多くの種類が生育しています。花の美しいシャクナゲ、ベニドウダン、サラサドウダン、絶滅が心配されるコアブラツツジなどが厳しい環境に適応しています。

溝干山の山頂付近には小規模ですが、ブナの群落があり、特定植物群落一覧表（環境庁1979）に溝干山のブナ-クロモジ群集として掲載されています。ブナは坂下峠にも、また溝干山への尾根筋の登山道沿いにも点々と生えています。葉の大きさは西南日本でみられる小型です。人里に近いブナ林は伐採が進み少なくなってしまいましたが、たくさんの実で他のいきものを養い、落ち葉が森の保水力を高めるブナは、近年見直されてきました。

南鈴鹿山地は、ほかにヤマグルマ、アカガシ、テバコモミジガサ、イワキンバイなど低地では見られない多くの植物を育んで今日に至っています。ここは、山地の多様な環境に適応した、植物をはじめいろいろな生きものに出会える貴重な場所なのです。

▲イワキンバイ

◀ブナ

11月の休園日　5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)

みなくち子どもの森自然館
☎63-6712　FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は水口町文化協会からお寄せいただきました。

・窓に見る花火は今年の景気なるか見事な広がり声出し見入る　福田　和子

・鈴虫の少なくなりてもらいうけともに仲よく秋の夜なごます　殿城　清子

・草笛で吹くメロディーの流れきて魂ふるわす爽やかな朝　廣瀬美津子

・齢(よわい)なりにのんびりせよと諭すのか軽き眩暈(めまい)は私を襲う　大平美恵乃

・ゆっくりと振り向くようなコスモスの描かれ親し友の便りは　富田　満枝

・元気よく登校なせる曽孫(ひこ)の姿見送るわれの今日を喜ぶ　川嶋　好枝

・収穫を真近にひかえ山裾田かかしを立てて賑わい見せる　田中のぶ子

・「ただいま」とさわやかに過ぐ女学生自転車の背に「おかえり」と返えす　田代　伸子

・朝日さすわが村里の野辺清(すが)したれる稲穂に露ひかりおり　上村　利代

・野火けむり野良着にしみる真昼間の藁(わら)燃す跡の黒々として　徳地喜代子

・病院への日々の通ひ路おのずから樹々草花の位置もおぼゆる　筧　道子

・出合う人に朝の挨拶「暑いわね」稲穂も出揃い秋風すぐる　山田　静枝

・病みてより折々届く文読めば孫ら三人少女となりゆく　太田紀久子

・二度とゆく当てなき旅の案内を礼文(れぶん)の花に想い重ねる　奥山　孝子

・サルボボの顔なき面(おも)が気のままに日毎変りてわれに向き居り　杉本智恵子

次号(12月1日号)は、信楽町文化協会の予定です。